

交通拠点整備基本計画検討業務
第 2 回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会

日時：令和 7 年 3 月 25 日（月）14:00～16:00
場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2 階

(1) 議事まとめ

発言者	内容
琉球バス	▪ 沖縄市の文化であるエイサーが出来る広場があると良い。
センター自治会	▪ 残地活用についてまち側の検討が必要である。建物除却のスケジュール感等共有が必要である。
委員長	▪ すーじーと広場はセットであることで魅力が高まることから、これらに留意して取組を進めてほしい。 ▪ 交通結節点が道路を挟んで両側になるが、結節点を結ぶ工夫として、単純な横断歩道橋ではなく、シンボリックなデッキとする必要があるのではないか。
コザまち社中	▪ まち側の老朽化が深刻化しているため、事業スケジュールや検討状況について共有が必要である。
沖縄総合事務局 南部国道事務所	▪ 胡屋来訪者は地域のコンテンツがわからないという意見があるため、コンテンツの発信も含めて検討してはどうか。

(2) 議事要旨

1. 開会

2. 報告 1) 前回議事要旨

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	議事要旨についてご意見あるか。	(一同) 異議なし。

報告 2) 令和6年度取組内容について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球バス	- 胡屋らしさとして、沖縄市ではエイサーが文化として根付いていることから、エイサーもできる空間が広場としてあると良いと考える。 - バスタ、バスターミナルは法制度上厳密には異なるため、呼び方を統一したほうが良いのではないか。 - 循環バスについて、どのバス停からの乗り降りが多いのか、どこのバス停なら連携が可能なのかが分かれば教えて頂きたい。循環バス事業に関わっているため、連携が出来ればよいと考えている。	(事務局) - エイサーは沖縄市の特徴であるため、広場の創出に向けてご意見踏まえて検討を進めていきたいと考えている。 - 市民へ分かりやすく説明するためバスターミナルという言葉を使用していた。今後、事業との整合を図るため統一させていただく。 - 本資料の分析では、出発地から到着地の移動需要を示しており、移動手段別、バス停別での利用状況が分かるものではない。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄市観光 物産協会	▪ 本検討委員会資料ではバスターミナルの検討がない。バスターミナル自体は別の検討委員会での議論となっているのか。 ▪ 交差点改良事業により建物除却が始まっているが、これらの進捗とバスタ事業との関連性について教えて頂きたい。	(事務局) ▪ バスタ事業の推進にあたり、沖縄市の役割分担では、バスターミナル周辺のまちづくりとなっている。バスターミナルについては国の方で検討を進めているが、しっかりと連携しながら進めていきたい。 (南部国道事務所) ▪ 道路改良事業はバスタと別事業で推進している事業であり、用地買収含めて進められているため、バスタ事業とタイムラグは生じてしまう。バスターミナルの機能検討について市、県とも連携しながら、事業間の連携についてもできるだけ検討していきたいと考えている。
センター 自治会	▪ 残地活用についてまち側も検討が必要と考えている。交差点改良事業による建物除却のスケジュール感を可能であれば教えて頂きたい。	(事務局) ▪ 残地活用については市も状況を把握している。土地の所有者の話も聞きながら検討していきたいと考えている。民有地は市単独で活用方法を判断することができないためこういったやり方があるのか検討していきたい。
沖縄 商工会議所	▪ 残地活用について、民有地は難しいという回答であったが、広場整備などを地域で対応しようとする場合の助けとなる補助制度等は検討されているのか。 ▪ 地域から声が上がってきた場合はバスターミナル整備があることを事前に伝えていきたい。	(事務局) ▪ 補助制度については現時点では検討していない。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	様々な検討があるが、広場もポイントであると考えている。沖縄ではスーシーが魅力であるが、広場とセットであることでより魅力が高まるものである。魅力を高める広場とスーシーについてもどこに創出していくのか、今後整理して頂きたい。	(事務局) ご意見を踏まえて、検討していきたい。

3. 議事 1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
一番街 商店街	広場の重要性の整理がされているが、基本計画のどこが対応しているのか。	(事務局) 「歩きやすい歩いて楽しい道路空間の構築」の中で近い形で触れているが、広場機能としての記述はないため今後検討していきたい。
委員長	- 広場を一面的に整備することを検討するということではなく、広場は場所によって大きさも機能も変化するものであることを踏まえ、まちの中にちりばめる形が良いと考える。 - 沖縄市の特徴として看板が挙げられる。広場と組み合わせて取り組んでいただけたらと考える。	(事務局) 法的な許認可（屋外広告物条例等）も含めて今後検討していきたい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄県 バス協会	▪ パークアベニューについて、資料 3、8pにある丸の内中通りのような空間を目指す必要があるのではないか。 ▪ 国際通りのトランジットモールのように、時間帯によって車道空間の使い方の工夫もあるのではないか。	(事務局) ▪ ご意見を踏まえて、検討していきたい。
胡屋 大通り会	▪ 胡屋中央地区バスターミナルと記載があるが、地域への説明はこの文言で話した方が良いのか。 ▪ バスターミナルの配置について、那覇向け、うるま向けの両方で検討されているのか。	(事務局) ▪ 市民へ分かりやすく説明するためバスターミナルという言葉を使用していた。今後、事業との整合を図るため統一させていただく。 ▪ 昨年度委員会にて、那覇方面、うるま市方面併せて検討していくことで合意を得ている。
沖縄 商工会議所	▪ 大学との連携について具体の検討項目があるのか。	(事務局) ▪ 具体はないが、包括協定を結んでいるため、今後連携を見据えて検討していきたいと考えている。
沖縄市観光 物産協会	▪ ウォーカブルな空間創出に向けて、コザゲート通りの店舗が基金を活用して店舗前の休憩スペースを整備されるなどの取組が進められている。 ▪ 道路空間の活用にあたり、清掃などの負担を地域にだけ押し付けない仕組みづくりを考えて頂きたい。	(事務局) ▪ 誰かに押し付けるのではなく、みんなが好きになるような通りになるよう取り組んでいきたい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	・ 国道を横断させるための工夫について、単純な横断歩道橋ではなく、イベント開催が可能なシンボリックな横断デッキの整備を基本計画に盛り込めないか。 ・ アイディアベースになるが、地下街というのも考えられる。地価とすることで将来の鉄軌道地下駅が出来た際の連携も可能となる。	(南部国道事務所) ・ 上下線両方整備するか、横断歩道でどう結ぶかについては検討していきたい。なお、交差点改良事業とバスタ事業は別であるため、計画に盛り込めるかどうかも含めて検討したい。 (事務局) ・ 地域と連携した整備に向けて一体感をどうするか対話しながら進めていきたい。
沖縄県バス協会	・ バスタ整備について、那覇方面は国、うるま方面橋の整備となるのか。	(南部国道事務所) ・ いずれも国による事業になると考える。必要性については今後検討していきたい。
コザまち社中	・ 商店街周辺は建物の老朽化が深刻化しており、バスターミナル整備のスケジュール感とはあっておらず、まち側は期待半分、不安半分の状況である。まち側に対して検討状況について情報共有が必要と考える。	(事務局) ・ 地域からも情報共有が欲しいと以前から意見をいただいている中で、会合などに参加させていただいていた。今後はエリアを広げて商店街全域の方々へも共有できるような仕組みを構築していきたい。
沖縄総合事務局 南部国道事務所	・ 胡屋への来訪者向けにアンケートを実施したところ、どんなコンテンツがあるのかわからないという意見があった。地域も含めてコンテンツの発信も基本計画に含めてはどうか。	(事務局) ・ 地域と連携して取り組めるよう検討していきたい。